

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	高級レストラン（専務）	・人の動きが活発になり、ビジネス客、観光客の売上が少しずつ上がっている。
	やや良くなる	百貨店（営業企画担当）	・猛暑、オリンピック等景気を後押しする要因があるため期待できる。
		衣料品専門店（総務担当）	・夏になり婦人・ヤング衣料が伸び悩んでいるが、宝石、着物等の高級品が売れている。今後もこの状況が続きそうである。
		家電量販店（企画担当）	・夏のボーナスは前年並み、もしくは若干多いということである。また、猛暑の影響でエアコン販売が好調なほか、オリンピック開催により大型テレビが売れている。オリンピック開催後が心配だが、今のところそう悪くない客数なので、まだまだ期待できる。
		乗用車販売店（管理担当）	・イベント等の来客が増加している。走行距離等をみると買い替えの時期に来ている客がかなり増えている。ただ、ガソリンの値上げにより、買い替えを少し延期するという動きが出てくるのが懸念される。
		都市型ホテル（副支配人）	・9月、10月、年末の予約が入り始めた。
		通信会社（営業担当）	・少しずつ商談の動きが出始めている。客の様子から判断すると、上向きである。
		観光名所（職員）	・観光施設については、今年に入り結構な伸びをみせており、前年より良くなる。ただ、その伸びがだんだんと縮小しており、果たして前年をどれだけ超えられるかが問題である。ゴルフ場については、天候のせいもあるがさほど変わらず、単価も安値で安定している。今後はコンペの数が多少増える。
		競輪場（職員）	・若年層の入場者が増加しており、安定感の持続が期待できそうである。
	変わらない	商店街（代表者）	・ボーナス後の中元商戦が思ったよりも盛り上がっていない。このままあまり良くない状態が続く。
商店街（代表者）		・相変わらず商店街に来る客が少ない。魅力がある店が少なくなったからである。	
百貨店（営業担当）		・中元、シーズン商品は伸びているが、手取り給与の減少のためか、紳士服、婦人服、生鮮食品の購入意欲が見られない。この傾向が今後も続く。	
百貨店（販売促進担当）		・景気が良くなっていると言われていたが、無駄使い等がほぼなくなっている中で、これといったヒット商品やトレンドもない状態では、消費は上がらない。	
百貨店（売場担当）		・3月と6月は前年の92%、それ以外は前年の98%程度で推移していたが、今月は売場の仕掛けも功を奏したほか、前年の天候要因もあり、前年実績を超えているという状況である。しかし前年実績を確保していない店舗も若干見受けられる。総合的に判断すると、今後も今の動きのままで推移する。	
スーパー（店長）		・夏物衣料が好調であり、客数は増えていることは事実であるが、総額表示導入に伴う実質値下げを行っており、単価が低い。また、青果物の単価も非常に下がっている。単価下落はしばらく続きそうである。	
スーパー（店長）		・今月は猛暑で衣料品が好調であったが、今後も良くなるとは思えない。	
スーパー（総務担当）		・一部高額商品の動きは活発化しているが、大多数の消費者の消費マインドはまだまだ改善していない。今後の景気は今と変わらない。	
スーパー（経理担当）		・依然として客数は微増となる一方、販売量は前年並みであり、客単価の下落傾向が収まらない。	
コンビニ（エリア担当）		・少しずつではあるが、景気が上向きになっている。しかし、来店客は必要なものだけを買って、無駄なものは省く傾向にあり、客単価は以前のままである。今後売上が好調になるとは思えない。	
コンビニ（エリア担当）	・ボーナス後も低単価商品をまとめ買いする傾向であり、依然として財布のひもは固い。余剰金銭がある中での傾向であることから、その傾向が変わるとは思えない。		

	衣料品専門店（店員）	・秋物は春夏に比べ1点あたりの単価が上がることから、通常どおり売れば利益は確保できる。しかし、今の暑さが9月まで続く長期予報が出ている。夏物の売上はさほど良くないため、早く秋物を立ち上げようとしているところであるが、この暑さなので今後秋物がどれだけ売れかについては不透明である。	
	乗用車販売店（経営者）	・中古車販売の客は、零細企業、中小企業に勤めている人が大部分を占める。それらの企業でボーナスが出てないこともあり、来客は少ない。また、テレビ等の高額商品を買うので、車は控えられている。	
	乗用車販売店（販売担当）	・来客数と購入単価は今年に入っても好転していない。購入に関して慎重さがうかがわれ、この傾向は今後も続く。	
やや悪くなる	コンビニ（経営者）	・他チェーン店との競争が一層激化し、1店舗あたりの状況は悪くなる。良くなる要素が見当たらない。	
	衣料品専門店（店長）	・猛暑の影響で売れているものもあるが、全体的には経済の動きは鈍く、財布のひもは固い。	
	住関連専門店（経営者）	・例年家具業界は夏場が悪く、盆過ぎて上向く傾向にあるが、近年は盆過ぎの見通しも楽観できない。当分この業界では景気の上向きは感じられない。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	・ライバル店において、競合する販売商品の売場が増床された。今以上に売上は厳しくなりそうだ。	
	タクシー運転手	・タクシーの売上は、ここ2～3か月の間にかなり落ち込みが激しくなっている。遠距離の客がかなり少なくなっており、悪くなる傾向にある。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税の適用期限以降は需要が減少する。	
	悪くなる		
企業動向関連	良くなる	輸送業（従業員）	・取扱量が前年を大きく上回っており、同業他社を含め活気がある。
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・鳥インフルエンザの影響で鳥肉の輸入がストップしているため、秋口までは引き合いが強い。国内の鳥インフルエンザの影響も収まり、鳥離れも戻りつつある。加えて今年は猛暑であるため、消費にも大きな好影響を与えてくれる。
		鉄鋼業（経営者）	・夏季は需要が減少したが、秋口は需要増に変化する動きが見え始めている。今年後半に向けて市況は大きく改善する可能性がある。
		建設業（総務担当）	・最近、民間の設備投資が幾分上向きになってきた。見積案件の金額も大きくなっており、景気は良くなっている。
		金融業（営業担当）	・この先2～3か月、中小企業経営者の景気に対するコメントが前向きである。
		広告代理店（従業員）	・新聞折込広告の枚数が増え始めた。今月も枚数・件数・金額のすべてで前年実績を更新し、しかもすべての業種に増加が見られる。この傾向が今後も続く。
		その他サービス業〔物リース〕（役員）	・取引先の景況感が良くなっている。当社でも契約額に若干の上向き傾向が見られるため、景気は良くなる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・九州新幹線部分開業の効果は依然として認められる。しかし、それ以外の好材料に乏しく、景気は現状と変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・デジタル家電関連は既に下降線に入っている。また、新規の需要が海外に移行する動きが全面的に出ている。現状の段階では変わらない。メーカーが一気に海外生産の決断を下せば、この先大変厳しい状況が続く。
		輸送業（従業員）	・特に景気が回復する要因はないが、メーカーは秋の新製品に今から力を入れている。今から少し落ち込むと思われるが、新製品の投入により、今と同じ水準位にはなる。ただし、かなり良くなるというようなことはない。
輸送業（総務担当）		・季節変動や連休前後の変動はあるが、安定した出荷量になっている。今後もしばらくは変わらない。	
通信業（職員）		・官庁関係・民間ともに折衝件数が増えず、受注増加が見込めない。	
広告代理店（従業員）		・時期的にイベントが多いが、その件数、イベント当たりの金額も変わりなく、むしろ減少気味である。景気の上向きは実感できない。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関係では、多ピンのリードフレームは、7月までがピークであった。大手ユーザーの話では、8月からの動きが非常に鈍いことから、下降線は避けられない。	
	経営コンサルタント	・高校野球、オリンピックが始まると、飲食サービス等が減少傾向を示す。熊本は景気判断においてサービス業、飲食業の比重が大きいため、この夏は若干マイナスになる。	

	悪くなる		
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・地場の動きはまだまだであるが、求人数はかなり伸びている。
		職業安定所(職員)	・個人消費の回復の兆しか、新規求人の中でも、小売業からの求人増が顕著にみられる。
	変わらない	職業安定所(職員)	・パート求人や派遣、請負の求人の割合が高く、労働者の所得の増加が期待できない。
	やや悪くなる	職業安定所(職員)	・事業所は売上が若干伸びているが、利幅が少なく、利益の確保が難しい。事業所自体ぎりぎりのところで経営をしており、厳しい状況が続いている。
	悪くなる	-	-